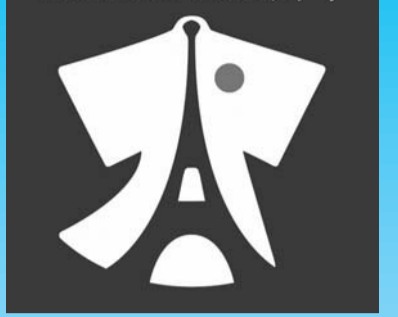


# 第10回 国際日本学シンポジウム



主催：お茶の水女子大学 比較日本学教育研究センター  
大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」  
女性リーダー育成プログラム  
後援：文理融合21世紀リベラルアーツプログラム

日仏交流 150 周年



平成 20 (2008) 年 7 月 5 日 (土) ~ 6 日 (日)

【使用言語：日本語、資料代 500円】

7 月 5 日 (土) 共通講義棟 2 号館 201 号室

## セッションⅠ (10:30~18:00)

### テーマ：人類・食・文化

近年、世界中で「食」に対する関心がますます高まりつつある。午前中は世界の食文化をリードするフランスから専門家を招き、文理融合の視点から人間と「食」、「食」と文化の問題について語っていただく。午後は日本の米と雑穀の食文化について、海外からの視点や科学的見地から検証し、現在注目されている食糧問題や栄養問題（メタボリック症候群）などに対して、日本学の立場から国際発信できる対応策を導き出す。

### ■午前の部 (10:30~12:45)

司 会 森山 新  
(お茶の水女子大学比較日本学教育研究センター長)

### 挨拶

郷 通子 (お茶の水女子大学学長)

### 公開講演会

フランソワーズ・サバン (日仏会館フランス学長)  
「食物、人間、そして神聖なるもの」  
マクシム・シュワルツ (パスツール研究所名誉所長)  
「農業害虫の生物的防除  
—パスツールから遺伝子組み換え作物まで—」

### ■午後の部 ~米と雑穀の日本文化~ (14:00~18:00)

司 会 村田 容常 (お茶の水女子大学教授)  
古瀬奈津子 (お茶の水女子大学教授)

### 研究発表会

シャルロツテ・フォン・ヴェアシュア (フランス国立高等研究院教授)  
「古代日本人は米をどれくらい食べていたか？」  
香西みどり (お茶の水女子大学教授)  
「日本の米と食文化」  
増田 昭子 (立教大学講師)  
「雑穀の社会史」

### パネルディスカッション

★茶話会 (18:00~19:00) ふるってご参加ください。(無料)

7 月 6 日 (日) 共通講義棟 2 号館 201 号室

## セッションⅡ (13:00~18:00)

### テーマ：源氏物語の千年—日本と欧米における源氏絵の旅—

源氏物語千年紀に際し、このセッションでは物語にまつわる多様な絵の歴史を通して、この世界屈指の傑作が時空を超えて旅した様を、比較研究の視点から浮き彫りにする。国内外の発表者が日本、欧米における源氏絵に関する研究の現状を紹介する。

### 研究発表

司 会 ロール・シュワルツ＝アレナレス (お茶の水女子大学准教授)  
清水婦久子 (帝塚山大学教授) 「源氏物語の絵画性」  
原山絵美子 (お茶の水女子大学大学院博士後期課程)  
「『源氏物語』竹河巻の絵画化—『あさきゆめみし』を出発点として—」  
エステル・レジェリー＝ボエール (フランス国立東洋言語文化研究院准教授)  
「フランスにおける源氏物語の研究—テキストへの視線と絵画への視線—」  
渡辺 雅子 (メトロポリタン美術館アジア部門主任研究員)  
「米国における源氏物語イメージの美術史的研究活動」

### パネルディスカッション 司 会 平野由紀子 (お茶の水女子大学教授)

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号 (東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅下車徒歩5分 正門(東門)からお入り下さい。)

お問い合わせ(月~金 10~17時)

比較日本学教育研究センター Tel. 03-5978-5691 E-mail ccjs@ocha.ac.jp

ホームページ <http://www.cf.ocha.ac.jp/ccjs/>

JCS推進室

Tel. 03-5978-5504 E-mail gsgp-jcs@cc.ocha.ac.jp

ホームページ <http://www.dc.ocha.ac.jp/dis-jacs/>